

# EXHIBITION

特別展 SPECIAL EXHIBITION



ジョアン・カイガー〈デカルト〉(部分) 1968  
© Estate of Joanne Kyger, Courtesy of University of California, Berkeley Art Museum and Pacific Film Archive

## 崇高さに関する抽象的な覚書

### A Reflection on the Sublime

A group exhibition conceived by Kazuna Taguchi with structured by Soshiro Matsubara

3月30日(土)～6月9日(日)

アーティストの田口和奈が着想し、松原志壮朗が構成を担当するグループショー。それ自身が展覧会という枠組みを用いておこなわれる抽象的考察です。展覧会の骨子となる詩人、ジョアン・カイガーによる生涯唯一のビデオ作品をはじめ、当館コレクションを含む日本国内の美術館コレクション、そして欧米を中心に活躍するアーティストたちの作品によって構成されます。



ジョルジ・ガゴ・ガゴツェ、ヒトシュタイエル、ミロスラキロヴィチ〈ミッション完了:ペランジーン〉 2019  
3チャンネル・HDビデオ(カラー、サウンド)、展示空間(47分23秒) ノイエ・ベルリナー・クンストフェライン(n.b.k.)での展示風景 ジョルジ・ガゴ・ガゴツェ、ヒトシュタイエル、ミロスラキロヴィチの共同制作  
Courtesy the artists, Neuer Berliner Kunstverein, Berlin; Andrew Kreps Gallery, New York; Esther Schipper, Berlin Photo © Neuer Berliner Kunstverein (n.b.k.) / Jens Ziehe

## 遠距離現在

### Universal / Remote

6月29日(土)～9月1日(日)

パンデミックをきっかけにいつそう見えてくるようになった社会の在り方、その中の私たちの暮らしや労働といった様々な事象を、現代美術を通して考察します。「Pan-の規模で拡大し続ける社会」と「リモート化する個人」の2つの視点を軸に、8名と1組による作品を紹介。過剰な監視システムや精密なテクノロジーをもたらす滑稽さ、その中で生きる人間の深い孤独を感じさせる作品群を通して、ポストパンデミック社会と個人の在り方を読み解くことを試みます。

SPECIAL EXHIBITION



## ティンティン・ウリア展(仮)

### Tintin Wulia (tentative)

9月21日(土)～2025年1月5日(日)

ティンティン・ウリア(1972年生まれ)は、市民権、戦争、国家機密など、国境に関連するテーマで、映像やインスタレーション作品を発表。作品では、民族的に少数派である中国系インドネシア人として育った自身の生い立ちや、移住の経験、グローバル化や国際的な政治問題等が提示されます。また研究者として、1965-66年のインドネシア大虐殺に関する米国の機密解除文書や、社会変革における美的対象の役割を研究。本展では、ウリアの作品とワークショップ等を通して、隠された歴史と社会政治的変遷を考察します。



原田裕規〈Home Port〉 2023  
ビデオ(4K、カラー、サウンド) 19分6秒

## 原田裕規展(仮)

### Harada Yuki (tentative)

11月30日(土)～2025年2月9日(日)

原田裕規(1989年生まれ)は、人間の人間らしさとは何かをテーマに、テクノロジー、リサーチ、パフォーマンスなどを駆使して作品を制作してきました。2012年に「ラッセン展」の企画でデビューし、議論喚起型のプロジェクトからその活動を開始。2022年以降は、広島や山口からハワイに渡った日系アメリカ人の混成文化を題材にした作品を発表しています。本展では、近年制作された映像インスタレーションを中心に、新作をまじえてその活動を紹介しします。

SPECIAL EXHIBITION / OPEN PROGRAM

## パフューム

### コスチューム ミュージアム

#### Perfume Costume Museum

2025年2月22日(土)

～6月1日(日)



世界を舞台に第一線で活躍を続ける広島出身の3人組ユニット Perfume(パフューム)。そのパフォーマンスを支えるのは独創性と機能性を兼ね備えた華やかな衣装たちです。本展では、メジャーデビュー以降、楽曲やステージでメンバーが実際に身にまとった衣装を紹介し、Perfumeの魅力をもときます。実際に使われた型紙や3人が特別に選んだお気に入りの衣装の展示コーナーなど、全国巡回展ならではの仕掛けも満載です。

オープン・プログラム OPEN PROGRAM

## Hiroshima MoCA FIVE 23/24

3月30日(土)～6月9日(日)

生まれ変わった公募展のテーマは「リニューアル」。入選者5人によるフレッシュな表現をご覧ください。



## モカモカ・ワークショップ

mocamoca Workshop

日時:毎週日曜日 10:00～16:30

場所:多目的スペース「モカモカ」

※参加無料、事前申込不要(随時受付)



フランス出身のデザイナー・ユニット 2m26 が制作した可動式ワークショップステーション「ツールボックス」がお出迎え。用意してある材料を使って、お絵かきや工作を自由に楽しめます。

## もかけん(もっと変わっていくための検討会議)

だれもが安心して美術表現に親しめる美術館をめざして公開勉強会やワークショップを実施。今年度のテーマは「ピクトグラム」と「鑑賞方法のひらき方」。研究者やアーティストを交えながら、参加者とともに検討していきます。

## メディアライブラリー・旧テレフォンブース

本や映像を思い思いに楽しめるメディアライブラリーと、かつて公衆電話が置かれていて今は展示ブースとなった旧テレフォンブース。このスペースをいかした小企画を随時実施します。

COLLECTION EXHIBITION

コレクション展 COLLECTION EXHIBITION

## 2024-I ハイライト+リレーションズ

【ゲストアーティスト:手嶋勇気】

Highlights + Relations [Guest Artist: Tejima Yuki]

4月27日(土)～8月12日(月・休)



手嶋勇気(AID #60) 2022 Photo: Kensuke Hashimoto

## 2024-II ハイライト+リレーションズ

【ゲストアーティスト:中西紗和】

Highlights + Relations [Guest Artist: Nakanishi Sawa]

8月24日(土)～12月8日(日)



中西紗和(はんげん-休日-) 2010

## 2024-III ハイライト+リレーションズ

【ゲストアーティスト:西島大介】

Highlights + Relations [Guest Artist: Nishijima Daisuke]

12月21日(土)～2025年4月6日(日)



西島大介「むださいさんアドベンチャー」より © sirasima

当館コレクションを代表する選りすぐりの作品群を紹介する「ハイライト」と、各異なるゲストアーティストや関連資料、特別出品を交えた企画「リレーションズ」を実施し、コレクション展示を拡張させる試みを展開します。

# HIROSHIMA MOCA SCHEDULE APR. 2024 - MAR. 2025



広島市現代美術館スケジュール  
2024.04 → 2025.03




\*記載内容については変更することがあります。(Subject to Change)

# SCHEDULE

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特別展	崇高さに関する抽象的な覚書 A Reflection on the Sublime A group exhibition conceived by Kazuna Taguchi with structured by Soshiro Matsubara		9	29	遠距離現在 Universal / Remote		1	21	ティンティン・ウリア展(仮) Tintin Wulia (tentative)		5	22
オプニングプログラム	Hiroshima MoCA FIVE 23/24		9					原田裕規展(仮) Harada Yuki (tentative)		30	パフューム コスチューム ミュージアム Perfume Costume Museum	
オプニングプログラム	27	2024-I ハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:手嶋勇気] Highlights + Relations [Guest Artist: Tejima Yuki]		12	24	2024-II ハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:中西紗和] Highlights + Relations [Guest Artist: Nakanishi Sawa]		8	21	2024-III ハイライト+リレーションズ [ゲストアーティスト:西島大介] Highlights + Relations [Guest Artist: Nishijima Daisuke]		特別展

## MUSEUM INFORMATION

### 鑑賞サポート Viewing Support

**アートナビゲーター**  
展覧会を見ている時に、作家や作品についてもっと知りたいと思ったら、展示室にいる  マークをつけたスタッフ「アートナビゲーター」に気軽に話しかけてみてください。



### アートナビ・ツアー 要覧展チケット

アートナビゲーターが展覧会の解説をします。  
◎開催日 / 土・日・祝休日  
【午前の部】A展示室 11:00～\*、B展示室 11:45～  
【午後の部】A展示室 14:00～、B展示室 14:45～  
◎所要時間 / 30分程度  
※第1日曜日は「いどばた鑑賞会」になります。



### 対話しながらみる、いどばた鑑賞会 要覧展チケット

作品の印象などを参加者同士で話しながら、一緒に鑑賞します。  
◎開催日 / 毎月第1日曜日 10:30～ ※コレクション展開催時  
◎会場 / A展示室(コレクション展)  
◎所要時間 / 60分程度 ◎定員 / 先着6名程度(当日受付)

### ベビーカー アートナビ・ツアー 要覧展チケット

小さな子どもと保護者でゆったり作品を鑑賞します。  
◎開催日 / 毎週水曜日 10:30～ ※コレクション展開催時  
◎会場 / A展示室(コレクション展) ◎所要時間 / 30分程度  
◎定員 / 3組程度(事前申込、定員に空きがある場合は当日も受付)

※開始時間までに  
展示室前にお集まりください。

### 施設 Facility

**カフェ「KAZE」**  
彫刻の広場に面した、窓から差し込む光が印象的な空間で、美術館らしい彩り豊かな一皿をお楽しみください。天気の良い日は屋外テラスもご利用いただけます。  
※テイクアウト、デリバリーあり

### ミュージアムショップ「339」

約33.9mの細長い空間が特徴的。展覧会やコレクションに関連したグッズや広島デザイナー、工芸作家によるアイテムが充実。入り口横にある「339」カウンターでは、POPUP企画も開催。オンラインショップでは、特別展の前売券も販売しています。



### 作品解説アプリ「ポケット学芸員」

美術館に展示しているコレクションの作品解説をアプリからご覧いただけます。



### メディアライブラリー

美術に関する図書を閲覧できるコーナーです。無料の展示や映像作品上映、イベントも不定期開催。

### 多目的スペース「モカモカ」

ワークショップやイベントなどが行われる他、常時開放しているスペースです。毎週日曜日には「モカモカ・ワークショップ」を開催。

### キッズスペース

ミュージアムショップの奥に、キッズスペースを設けています。親子で一緒に過ごせる空間です。

### だれでも多目的トイレ

車いすユーザーの方、乳幼児をお連れの方、オストメイトの方など、誰でもお使いいただけます。

### ベビーケアルーム

おむつ交換台などを備えています。ご利用の際は受付にお知らせください。

### 彫刻の広場

#### Sculpture Garden

美術館周辺にはたくさんの彫刻作品が展示されています。マップを片手に作品鑑賞をお楽しみください。作品シールを貼りながら鑑賞ができる「シール付マップ」も配布中。受付でおたずねください。



### 各種サービス Service

- ◎受付にて「車いす」「ベビーカー」の貸し出しを行っています。
- ◎受付にて筆談ボード、点字マップなどをご用意しています。
- ◎盲導犬・聴導犬・介助犬も一緒に入館できます。
- ◎託児サービスについては、事前にお問い合わせください。
- ◎館内フリーWiFi(hmoca\_free)

### 美術館がもっとと近くなる!

#### ミュージアムパスポート「モカパス」

**Museum Passport MOCA PASS**  
広島市現代美術館の展覧会を何度でもみられるお得なパスポート! カフェやミュージアムショップでの割引や連携美術館・博物館の観覧料割引など、うれしい特典がいっぱいです。  
◎料金 / 一般3,300円、大学生2,400円、高校生・65歳以上1,650円  
◎有効期限 / 1年間(4月1日～3月31日)  
◎販売 / 広島市現代美術館・受付



#### 中学生のための「モカパスJunior」

来館回数に応じて図録がもらえるスタンプカード。  
◎料金 / 無料  
◎有効期限 / 卒業年度の3月31日まで  
◎申込方法 / 広島市現代美術館・受付にてお申し込みください。



## 利用案内 GENERAL INFORMATION

- 開館時間 10:00～17:00 ※入館は開館の30分前まで
- 休館日 月曜日、12月27日～1月1日 ※月曜日が祝休日にあたる場合はその翌平日
- 観覧料 ※( )内は30人以上の団体料金  
[コレクション展] 一般 350(250)円、大学生 250(150)円、高校生・65歳以上 150(100)円、中学生以下無料  
[特別展] 展覧会により異なります  
※原簿障害者章、身体障害者手帳ほかをお持ちの方は無料  
【ハロー! コレクションデー】毎月第3日曜日:コレクション展無料  
【開館35周年記念日】5月3日:全館無料  
【こどもの日】5月5日:高校生以下無料 【文化の日】11月3日:全館無料

## アクセス ACCESS

- 広島駅から**  
[路面電車] 5番「広島港」行き▶「比治山下」下車、徒歩約500m  
[バス]「まちのわループ(右回り)」もしくは「大学病院」「旭町」「県病院」行きバス▶「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約700m  
[タクシー] 約10分 [徒歩] 約25分
- 紙屋町または八丁堀から**  
[バス] 23-1番系統「大学病院(比治山トンネル経由)」行き▶「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約550m

### その他

- 市内循環バス「ひろしま めいぶる〜ぶ」(オレンジルート)  
▶「現代美術館前」下車、約100m
- 広島市シェアサイクル「びーぐる」  
▶「比治山公園」ポートより、約100m  
広島市現代美術館ミュージアムショップ「339」にて「1日バス」「午後バス」を販売中



### 駐車場

- 美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。
- ◎比治山公園内(約120台分、無料、利用時間9:00～19:00)
- ◎広島段原ショッピングセンター駐車場(1階サービスカウンターに当館の入館証提示で当日に限り3時間無料)



**広島市現代美術館**  
Hiroshima City Museum of Contemporary Art  
〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1  
tel. 082-264-1121 fax. 082-264-1198  
www.hiroshima-moca.jp

